

**「自動車および蓄電池サプライチェーン企業間でのデータ連携サービス」**  
**会員企業の募集を開始**  
～欧州電池規制に対応可能なサービスから提供～

一般社団法人自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター（所在：東京都港区、代表理事：藤原輝嘉、以下「ABtC」）は、2025年後半から導入される欧州電池規制<sup>※1</sup>のカーボンフットプリント宣言に伴い、自動車や蓄電池のサプライチェーン企業間で安心・安全にデータ連携を行うことができるサービス「トレーサビリティサービス」の会員企業の募集を開始しました。

欧州電池規制が導入されると、欧州で販売される全ての電動車<sup>※2</sup>について、車載電池のカーボンフットプリント<sup>※3</sup>（以下 CFP）の開示が自動車・蓄電池メーカーに義務付けられることとなります。そのため、各企業では従来のやり方では製品を販売できない、部品や材料を調達できない、企業秘密を含むデータの提供を求められるといった経営課題に直面することとなります。

「トレーサビリティサービス」では、各企業の秘匿情報保護と競争力を損なうことなく、各国各地域で複雑・高度化する規制に対応することが可能となります。各企業の枠を超えて企業間・産業間の連携と協調により、社会課題の解決に貢献することを目指しています。

※1 欧州電池規制：電池を使用する製品（＝バッテリー製品）の原材料調達から設計、生産プロセス、再利用、リサイクルまでのライフサイクル全体に対する取り決め。2023年8月に発行され、2024年から段階的に実施規則と委任規則が施行され、関連事業者は指定された開始時期に従って義務を履行する必要があります。（詳細：<https://eur-lex.europa.eu/eli/reg/2023/1542/oj>）

※2 電動車：エンジンのみではなく、電化（Electrified）することでCO<sub>2</sub>の排出を低減することを実現し、販売されている主なクルマの種類のこと。現在市販されているもの

として、主にハイブリッド車（HEV）、プラグインハイブリッド車（PHEV）、電気自動車（BEV）、燃料電池車（FCEV）の4つを指す。

※3 カーボンフットプリント（CFP）：製品やサービスの原材料調達から廃棄、リサイクルに至るライフサイクル全体を通じたCO<sub>2</sub>排出量。

**【サービス利用お申込み先】 ABtC ホームページ (<https://abtc.or.jp/>)**

## 1. 「トレーサビリティサービス」でできること

- CFP 算出アプリケーション事業者が提供するアプリケーションと組み合わせて、自動車バッテリーの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出されるCO<sub>2</sub>排出量(CFP)を集計して算出することができるようになります。
- トレードシークレットの観点から個々の CFP データ提供者がデータの開示先をコントロールすることができるようになります。
- 集計して算出した CFP 値のデータを、第三者認証機関へエビデンスとして提出することで、欧州法規に則った認証を取得することができます。
- 欧州輸出の際は、これらの CFP 値と証明書データを合わせて開示することにより、来年施行予定のバッテリー規制以降も欧州での電動車の販売を継続することができます。

## 2. 「トレーサビリティサービス」の特徴について

経済産業省、独立行政法人情報処理推進機構、業界団体が推進するデータ及びシステム連携のイニシアティブである「ウラノス・エコシステム<sup>※4</sup>」の第1弾のユースケースとしてリリースされており、下記のような特徴があります。

①利便性	<ul style="list-style-type: none"><li>モビリティ業界関係者にとって必要最低限の機能・インターフェースで整えたシンプルな基盤</li><li>一般社団法人日本自動車工業会/一般社団法人 電池サプライチェーン協議会/日本自動車部品工業会間における、団体協調でのシステム標準化により、OEM 毎のシステム運用対応が不要</li></ul>
②中立性・安全性	<ul style="list-style-type: none"><li>公益デジタルプラットフォーム運営事業者認定制度<sup>※5</sup> が創設され次第、申請予定</li></ul>
③相互運用性	<ul style="list-style-type: none"><li>海外とのデータ基盤との相互接続・運用に向けた対応を検討</li></ul>

※4 ウラノス・エコシステム：Society5.0《サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（物理空間）を高度に融合することで経済発展と社会的課題の解決と産業発展を両立する人間中心の社会》の実現というビジョンに共感した方々とともに、こうした取組を通じて、その実現を目指す、一連のイニシアティブ（詳細：[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/digital\\_architecture/ouranos.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/ouranos.html)）

※5 データ連携システムの運営及び管理を行う者のうち特に必要な民間事業者等を政府が「公益デジタルプラットフォーム運営事業者」として認定し、公益性を担保する仕組み（詳細：[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/digital\\_architecture/lifeline\\_kaigi/dai3\\_0328/siryou\\_2.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/lifeline_kaigi/dai3_0328/siryou_2.pdf)）

## 3. 現在の参画企業（保留）

- 国内自動車メーカー14社と業界団体「一般社団法人 電池サプライチェーン協議会」と「日本自動車部品工業会」が参画<sup>※6</sup>
- 国内外の大手・ベンチャーを含めた CFP 算出アプリケーション事業者9社が参画<sup>※6</sup>

※6 2024年5月16日時点（手続き中の企業も含む）

## 4. 「トレーサビリティサービス」でのデータ連携および保護について

- **データ主権<sup>※7</sup>の確保**  
データ連携基盤の基本方針の第一に、データ主権<sup>※7</sup>の確保をあげています。
- **必要なデータ秘匿、耐改竄等様機能の確保**  
そのため、必要なデータ秘匿、改竄耐性等の機能を備えており、競合他社に自社のデータを見られることがないような仕組みになっています。

※7 データ主権：データ所有者が自分のデータを制御および管理する権利

### <参考>なぜ競合他社にデータを見られる心配がないのか？

ブロックチェーン技術を活用して、データの所有者が予め合意した相手とだけデータを連携させることを技術的に保証します。また、各個社データが暗号化されていることで、情報漏洩対策、改竄耐性が保たれています。

## 5. 今後のサービス展開について

世界的に進む環境規制・デジタル規制の複雑化への対応や、カーボンニュートラル、資源循環、災害に備えたサプライチェーンの強靱化といった社会課題を前に、自動車・蓄電池の業界全体が手を携える協調領域は広がりつつあります。ABtC は今後、データ連携のサービスを拡大しながら日本のモノづくりが世界で戦うための基盤づくりに貢献することを目指します。



### ① デュー・デリジェンス (DD) での活用

- ・ 欧州電池規則の資源採掘における人権・環境対応エビデンスデータの伝播に必要な機能を提供（'25/8）。
- ・ また電池に限らず OECD ガイダンスに基づく DD 対応をカバーしサプライチェーン企業全体を支えるサービスを実現。

### ② ライフサイクルアセスメントでの活用

- ・ 自動車蓄電池にとどまらず、車両 1 台の材料から廃棄までのライフサイクルにおける環境負荷を定量的に評価するために業界全体としてデータ伝搬に必要な機能の提供。

### ③ デジタル製品パスポートでの活用

- ・ 電池パスポートを皮切りとして、電池に関する価値のある情報とモノを紐づけ、様々なサービスを創出する場を提供することで、新たなバリューチェーンの創造に寄与。

## 6. 組織概要

名称	一般社団法人 自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター (ABtC)
設立日	2024年2月14日
所在地	東京都港区西新橋1-1-1 日比谷 FORTTOWER 10階
代表者	藤原 輝嘉
構成	自動車メーカー、蓄電池・自動車部品メーカー等、各方面の専門メンバーで構成
事業内容	自動車・蓄電池サプライチェーン上の企業間で安心、安全にデータを連携させるためのトレーサビリティ基盤の提供。環境規制への対応や社会課題の解決を業界協調で行うことで産業全体の競争力の向上に貢献する。

以上

### 【本件に関するお問合せ先】

一般社団法人 自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター(担当:平越)

<https://abtc.or.jp/>